

ポーラ化成工業、熱中症リスク判定 AI カメラ『カオカラ』の受注開始 熱中症対策に革新 精度・使用性・管理にメリット

カオ カラ

ポーラ・オルビスグループの研究・開発・生産を担うポーラ化成工業株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：片桐崇行）は、同社の顔解析技術を活かし熱中症予防のために開発された熱中症リスク判定 AI カメラ『カオカラ』の受注を2024年3月より開始しました。熱中症は社会的な課題であり、その解決を目指して新たな事業を立ち上げることとなりました。

社会課題である熱中症の解決を目指した新規事業

ポーラ化成工業のフロンティアリサーチセンター（FRC: Frontier Research Center）は、ポーラ・オルビスホールディングスのマルチプルインテリジェンスリサーチセンター（MIRC: Multiple Intelligence Research Center）と共同で技術に基づく事業開発を進めており（補足資料 1）労働現場の熱中症対策に顔解析技術を応用する取り組みもその一環です。

これまでポーラ化成工業は、カメラに顔をかざすことで熱中症リスクを判定^{※1}できる熱中症予防システム『カオカラ』の開発を進めてきました^{※2}。2023年夏にはプロトタイプを建設現場に導入し、社会実証試験を実施^{※3}。その結果、本システムが熱中症対策に有用であることや、現場での運用上の課題・ニーズを把握することができました。メディアでも注目を集め、既に建設業・製造業の企業から多くの引き合いが寄せられています。学校や幼稚園などへの導入も期待されており、2024年夏シーズンを前に、当社の新規事業として市場に参入します。

「カオカラ」の3つの特長

『カオカラ』は、下記の特長を持つシステムで、現場全体の熱中症対策をサポートします。

1) 精度 専用に学習した AI により顔画像から体調不良状態を解析し、外気温や湿度などの外的リスク情報と統合してリスクを推定できます。

2) 使用性 専用タブレットを設置し起動すれば使用可能で、簡便な管理運用が期待できます。カメラに顔をかざすと約3秒で結果が表示されます。4段階の色で示されるため、直感的で分かりやすいとの声をお客様からいただいています。

3) 現場での一元管理 リスク結果は一元集約され、現場管理者はパソコンなどで結果履歴を確認できます。リスクの高い作業員に優先して声掛けができるなど、効果的な対策に役立てることが期待されます。

『カオカラ』は、複数の代理店を通じて法人向けにリース販売されます（オープン価格）。

カオカラ公式 WEB サイト

詳細は公式サイトにて随時公開されています。また、製品に関するお問い合わせも受け付けています。

公式サイト：
<https://kaokara.jp>



カオ カラ

製品構成



- ・カオカラがプリインストールされた専用タブレット
防水[IPX5/8]・防塵[IP6X]対応
- ・充電用ACアダプター

3つの特長



精度高い顔解析AI



簡単設置×運営



一元管理

判定システム

タブレットに顔をかざす

低 ← 熱中症リスクを4段階でお知らせ → 高



顔をかざして約3秒、AI判定完了

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室

広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp

※在宅勤務を推奨しておりますので、お電話がつかない場合はメールにてお問い合わせください。

【補足資料 1】ポーラ化成工業 FRC と ポーラ・オルビスホールディングス MIRC について

ポーラ化成工業は、ポーラ・オルビスグループの研究・開発・生産を担います。研究所のフロンティアリサーチセンター (FRC: Frontier Research Center) では、株式会社ポーラ・オルビスホールディングスのマルチプルインテリジェンスリサーチセンター (MIRC: Multiple Intelligence Research Center) が決定した研究戦略に基づいて、新規有効成分の開発や化粧品の枠を超えて新価値創出を担うなど、新規・既存事業へ活用するシーズを創出しています。さらに、FRCとMIRCは多方面にわたり技術に基づく事業開発を継続的に実施しています。



<ポーラ化成工業株式会社 ホームページ>

<https://www.pola-rm.co.jp/>

<株式会社ポーラ・オルビスホールディングス ホームページ>

<https://www.po-holdings.co.jp/>

※1 熱中症リスクとは、熱中症を発症しやすい体調不良状態を指します。本製品は熱中症を診断する装置(医療機器等)ではありません。

※2 参考リリース：

『熱中症リスク判定 AI の社会実証試験へ 建設現場においての有用性検証で建設事業者の連携先を募集』(2023年2月1日)
https://ir.po-holdings.co.jp/news/news/news-7273735601273491569/main/0/link/20230201_AI_s.pdf

※3 参考リリース：

『熱中症リスク判定 AI カメラの社会実証試験を開始』(2023年6月26日)
https://ir.po-holdings.co.jp/news/news/news-43668325159156815/main/0/link/20230626_AI.pdf